

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

「アノテーションソフト ELAN の基礎」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションを行っている、あるいは近い将来行う予定の研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。

今回は言語の音声・ビデオなどの一次データに転写・翻訳・文法情報などのアノテーションをつけるためのソフトウェア ELAN の使用について実習を行います。ELAN は Max Planck Institute for Psycholinguistics が開発・配布しているアノテーションのためのソフトウェアです。詳細は以下のリンクをご覧ください。

<https://tla.mpi.nl/tools/tla-tools/elan/>

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2017年7月5日（水）13:00～16:00
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）
マルチメディアセミナー室（3F・306）
3. 講師：塩原朝子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
4. 参加資格：言語学のフィールドワークを行っている、あるいは、これから行おうとする研究者・学生（大学院生以上を原則とします）
5. 定員：12名程度
6. 参加申込方法：次の情報を下記「8. 申込先」宛に電子メールでお寄せ下さい。
(1) 氏名 (2) 所属 (3) 連絡先メールアドレス
※ 件名は必ず、テクニカル・ワークショップ「アノテーションソフト ELAN の基礎」
受講希望として下さい。
7. 申込締切：7月3日（月）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）
8. 申込先：
「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
lingdy-apply[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

9. その他：

- ・受講申込後にワークショップで使用するソフトのリンク先をお知らせしますので、このソフトをインストールしたパソコンを当日お持ちください。
- ・講義は日本語で行います。
- ・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 申込先」までお問い合わせください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上